



むじっこだより

あなたの「むじっこ」やあなた自身を笑顔にするお手伝いをさせていただきます。



むじっこだより No.8

市民有志が立ち上がり、誕生した市民団体「むじっこみまもりたい」(以下、むじっこという※むじっこは、かわいい子という意味です。)の活動状況をお知らせする「むじっこだより」をご覧いただき、ありがとうございます。むじっこは、社会福祉法人やNPO法人や地域の有志の方々が2021年10月に立ち上げた団体です。子育てが大変だというご家庭と「つながって」、社会の宝である子どもたちの笑顔と権利を守るために、毎月の訪問、宅食のお届け、その他、子ども食堂やフードバンク、フードパントリー、学習支援などの活動と連携しています。むじっこのために、多くの方とつながっていきたいと思います。

■田植え体験に参加してきました。(2022.6.11)

・山之口地区で田植え体験があり、むじっこ役員も参加してきました。

地元の方々が子どもたちのためにと始められた田植え体験。当日はあいにくの大雨と時折の強風という自然状況でしたが、子どもたちも一本ずつ丁寧に苗を植えていました。

・発起人のひとりである川内たかゆきさんよりコメントをいただきましたので、ご紹介します。

「令和3年から、こども宅食・子ども食堂のために米作りを始めました。始めたきっかけは、こども宅食等の食材不足を知ったことがきっかけです。

収穫の時期には、様々な食材が大量に集まりますが、時期を過ぎると足りなくなるといった状況を目の当たりにしてきました。特に、お米については私たちの食生活に欠かせない食材でありながら、こども宅食であっても安定して供給することが難しい実態もありました。

何より、ご家庭の声としてお聞きした「わあ、白米がきた!」といったこどもの声は、令和の時代において、ものすごく考えさせられるものでした。

そこで、少しでも足しになればと活動を始めました。

私は職務上、寄付を禁じられていますので、田んぼを貸して下さる方から探しました。

次に、取組みの趣旨をご理解いただき協力いただく企業、団体様を見つけることができました。

おかげで、田んぼ、苗、防除、籾の乾燥、必要な農機具・資材提供など、お金をかけることなく全てを善意で完了する有志による勝手連プロジェクトとなりました。

本来の目的とは別に、せっかくやるなら食育も一緒にやろうと田植えや稲刈りについて子どもを募り活動しています。

目標は、この活動が必要のない社会をつくることです。微力ではありますが今後も取組みをつづけていきたいと思っています。」(川内たかゆき氏)

・熱い思いに、心から感謝します。多くの方々の思いがあって、むじっこの活動があります。食材の提供(宅食、子ども食堂、フードバンク)をしながら、子育て支援(子育て相談、子どもの発達支援、あらゆる子育て支援策との連携、不登校・登校拒否の相談・支援、学習支援、生活習慣支援など)と連携して、これからもむじっこの世帯を支援していきます。



■たくさんのご寄付、物資の支援に感謝します **2022年6月寄付者一覧 順不同**

トータルケアサービス様/みやざき子ども未来ネットワーク様/NPO 法人全国こども食堂支援センターむすびえ/ハピネス様/(特非) こまつばら会様/

(株) フェニックス急行様/
みやさん食品様/下蘭様/
小原様/豊梅園様/笹葉様/
安楽寺様/三星様/楽畑様
南日本酪農協同(株)様/
浜田商店様/森岡様
・そのほか、匿名の皆様



□ ■ むじっこ事務局 □

いつでもご連絡ください!

25-1879 (相愛保育園内・担当 高木朝)

080-2751-9682 (担当: 高木かおる)

090-8834-0115 (担当: 高木かおる)

※つながらない時は留守番に録音を!

活動スローガン **むじっこの笑顔と権利を守ろう!**